

第3学年 保健体育科学習指導案

日時 令和4年10月19日(水) 5校時
場所 屋久島町立岳南中学校 体育館
対象 3年1組(26名)
指導者 教諭 岩川 剛(T1) 地域人材 鹿島厚代(T2)

1 単元名 ダンス

2 単元について

(1) 一般的特性

- ア 心と体を解き放し、リズムやイメージの世界に没頭して踊ることに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。
- イ 他との違いを個性としてとらえ、お互いの良さを認め合うことのできる運動である。
- ウ 仲間と関わって踊ることで、心の交流ができる運動である。
- エ 多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現するところに、楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

(2) 生徒の側から見た特性

- ア リズムに乗って仲間と一緒に全身で踊る時に楽しさを感じる。
- イ 自分のイメージや思いを、仲間と即興的に表現する楽しさを感じる。
- ウ 踊ってみたいと思う反面、恥ずかしさから自分を解放することは難しい。
- エ カッコいいステップに憧れるが、容易にはできず諦めてしまうことが多い。
- オ イメージした動きを即興的に表現し、仲間と見合っ楽しんですることができる。
- カ イメージをとらえ即興的に表現することは、苦手意識から個人差が出やすい。

3 生徒の実態【3年1組 24人 調査日 令和4年7月15日(金) 未実施5人】

1 体育の授業は好きですか。(はい 18人 いいえ 1人)
2 これまでの体育の授業で、できなかったことができるようになったことはありますか。 (はい 17人 いいえ 2人) 「はい」と答えた人は、どのようにしてできるようになりましたか。 <ul style="list-style-type: none">・意欲的に練習に励んだ。(7人)・体が少し動くようになった。(1人)・先生や友だちにアドバイスをもらった。(8人)・バスケットボールでゴールが入るようになった。(1人) 「いいえ」と答えた人は、どうしてできるようにならなかったと思いますか。 <ul style="list-style-type: none">・スポーツ全般的にできるほうだから。(1人)・むずかしいから。(1人)
3 友だちにアドバイスすることが得意ですか。 (得意 3人 どちらかといえば得意 7人 どちらかという苦手 7人 苦手 2人) 「どちらかといえば苦手」「苦手」と答えた人は、なぜですか。 <ul style="list-style-type: none">・あまりスポーツが得意ではないから。(1人)・相手にどのように伝えればよいか自信がない。(3人)・自分ができていないことを相手に教えられない。(5人)

<p>4 ダンス（音楽に合わせて体を動かすこと）は好きですか。 （好き 4人 どちらかといえば好き 5人 どちらかという嫌い 8人 嫌い 2人） 「どちらかといえば嫌い」・「嫌い」と答えた人は、なぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスが苦手。 (5人) ・動きが難しそうだから。 (2人) ・リズム感がないから。 (2人) ・どのように表現すればよいか分からない。(1人)
<p>5 創作ダンスでの授業であなたが望むことはどんなことですか。(複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力するなどコミュニケーションの力を高めたい。(11人) ・思いっきり身体を動かし、体力を高めたい。(8人) ・色々な練習に興味をもち、積極的に取り組みたい。(7人) ・創作ダンスに必要なイメージや表現の仕方を身につけたい。(2人) ・ダンスに関する知識を学びたい。(4人)

【考察】

本校は体育の授業に積極的に参加する生徒が大変多い。本校における指導体制において、学校生活での重要な役割を占める挨拶に力点を置いていることを考えれば、返事、挨拶、集団行動など必要不可欠な指導項目であり、全学年で1学期中に指導をしている。また、9月に実施した体育大会では、生徒会保健部を中心として大会当日を迎えるまでの練習の運営を任せ、大会当日には観衆を魅了させる体育大会を披露することができた。生徒も自分たちの頑張りの達成感を味わい、その後の体育の授業に対する意欲もさらに高まった。

実態調査から、体育の授業について、多くの生徒が体育の授業が好きと答え、これまでに体育の授業でできるようになった経験をもつ生徒が9割いた。なかでも意欲的に取り組んだ、生徒や先生にアドバイスをもらい、できるようになったと答えた生徒が多くいた。この成果は、これまでの授業におけるアドバイスの機会を意図的に設定し、取り組ませてきた成果ではないかと考える。

しかし、今後の課題として3つあげられる。1つめの課題は、これまでの体育の授業においてできるようになった経験がない生徒がいることが分かった。これは、これまでの授業において教師の関わりが少なかったり、生徒の助け合いや学びあうことが少なかったのではないかと考える。そこで、できる喜びを感じさせるために、個々における教師の関わり方やグループ活動やアドバイス学習を充実させる指導の工夫をしたい。

2つめの課題は、友達へアドバイスすることに苦手意識を持っている生徒が半数いることが分かった。その理由として「相手にどのように伝えればよいか自信がない」、「自分ができないことを相手に教えられない」などがあげられた。そこで、アドバイスする際にはアドバイスポイントをしっかりと理解させ、友達の動きを見て感じたことや考えたことを伝えることも大切であることを確認し、アドバイスすることで、技術の習得や肯定的な人間関係づくりにつながることを理解させたい。

3つめの課題は、ダンスを「どちらかという嫌い」・「嫌い」と思っている生徒が約半数いることが分かった。その理由としては「ダンスが苦手」・「動きが難しそうだから」などがあげられていた。これは、イメージを捉えて表現した経験が少なかったりしたためではないかと考える。そこで、導入段階で定型的な動きを取り入れ、まずは慣れさせることを試みたい。

本学級は普段から大変元気があり、なかなか発言や行動ができない生徒がいると相互に声を掛け合うなど、大変良い雰囲気を出している。ダンスでも本学級の特色を生かし、お互いを認め合う活気ある授業にしていきたい。

4 指導観

指導にあたっては、ダンスの授業を通して、リズムにのって踊る楽しさだけでなく、仲間と豊かに関わりながら、仲間の良いところを見つけたり、恥ずかしがらずに自由な発想でのびのびと動く楽しさを味わわせたい。また、生徒の意欲や個性を引き出す言葉かけを工夫するとともに自分たちの動きをタブレットで撮影し、気付いたことを出し合いながらのびのびと活動させていきたい。加えて、自由な発想で動く楽しさや生徒一人一人の持つ個性を活かして仲間と共に創作していく楽しさを味わわせたいと考えている。

5 単元の目標

(1) 目標

ア 表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個やグループで緩急強弱のある動きを即興的に表現したり、作品にまとめたりして踊ることができるようにする。 【知識及び技能】

イ 表現などの自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】

ウ ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、健康・安全に気を配ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

(ア) 知識・技能		(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
○ 知識 ①ダンスは、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書き出したりしている。 ②ダンスは、様々な文化の影響を受け発展してきたことについて、言ったり、書き出したりしている。 ③それぞれのダンスには、表現の仕方に違いがあることについて、学習した具体例を挙げている。	○ 技能 ①一番表したい場面や動きを、スローモーションの動きで誇張したり、何回も繰り返したりして表現することができる。 ②「走るー止まる」では、走って止まるまでをひと流れで動いたところからイメージを広げて表現することができる。 ③ものを何かに見立ててイメージをふくらませ、変化のある簡単なひとまとまりの表現にして踊ったり場面の転換に変化を付けて表現したりすることができる。	①提示された事例を参考に、自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ②仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、グループへの関わり方を見つけている。 ③体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための表現や交流を行う方法を見つけ、仲間に伝えている。	①ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ②簡単な作品創作などについての話し合いに参加しようとしている。 ③一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。 ④健康・安全に留意している。

6 単元の指導計画（全9時間）

時間	学習の流れ	知・技	思	態
1	<p>リズムに乗ってダイナミックに踊るにはどんな工夫が必要だろうか！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 リズムに乗って踊る。 3 ペアで新しい8 8 4 4 2 2 1 1 1の動きを見つける。 4 リハーサルをする。 	知 ②		
2	<p>新聞紙を使ってひと流れの動きをするためにはどんなイメージが必要だろうか！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新聞紙を使ってウォームアップ 2 教師が動かす新聞紙の様子とおりに動く。 3 二人組でお互いを動かす。 4 二人が気に入った動きをつなげてひと流れの動きにする。 5 リハーサルを行う。 6 グループごとに見せ合う。 	知 ①		態 ④
3	<p>思い切り走りピタッと止まる動きの中からどんなイメージが考えられるだろうか！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題を確認する。 2 イメージをかけ合わせながら動く。 3 三人組で動きとイメージを交換する。 4 発表する。 	技 ③	思 ①	
4	<p>ダイナミックな空間を作るにはどんな工夫が必要だろうか！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題を確認する。 2 その場でとび散る練習。 3 6人組でひと流れを動く。 4 教師のイメージで例で動く。 5 自分の思いついたイメージで動く 6 イメージをグループで出し合う。 	技 ②		
5	<p>大きさに表現しよう！デフォルメをしよう！①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ブレインストーミングをする。 2 デッサンタイム。 3 デフォルメを理解する。 4 グループでスポーツデフォルメの練習をする。 5 リハーサルをする。 6 見せ合う。 	知 ③		態 ③

6	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大きさに表現しよう！デフォルメをしよう！②</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ブレインストーミングをする。 2 夏からイメージしたものを動く。 3 全員で扇風機をデッサンする。 4 リーダーを真似て動く。 5 発表する。 	技 ①	思 ③	
7	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大きな動きを表現するにはどんな工夫が必要だろうか！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題を確認する。 2 6人組で「跳び上がる」を使って流れをつかむ。 3 盛り上がる運びを確認する。 4 イメージを出し合う。 		思 ②	態 ①
8	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">小作品を作るためには、どんなことに気をつけながら創作に取り組めばよいか！①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時の振り返りと発表会の説明をする。 2 グループ創作をする。 3 リハーサルをする。 			態 ②
9	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">小作品を作るためには、どんなことに気をつけながら創作に取り組めばよいか！②</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グループ創作の続きをする。 2 発表をする。 3 評価をする。 			

7 本時の実際 (8/9)

(1) 創作活動をする際の注意点を確認し、積極的な活動表現ができる。

【知識・技能】【思考力・判断力・表現力等】【学びに向かう力】

過程	時間	学習内容と活動	○留意点 ●援助・支援 ☆評価
導入	10	1 あいさつ，出欠確認，健康観察を行う。 2 準備運動を行う。 3 学習課題を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 作品を作るためには，どんなことに気をつけ ればよいだろうか！ </div>	○ 素早く集合させ，あいさつさせる。 ● 十分にストレッチ効果が現れるよう助言する。(T1, T2) ○ 学習課題を確認させ，活動内容を意識付けさせる。 ☆ 準備運動に積極的に取り組んでいるか。(T1)
展開	30	4 前時の振り返りと発表会の説明をする。 ・前時の学習から体を大きく使って表現する理由を確認する。 ・グループ内を2班に分けて，表現とタブレットによる撮影を交互に繰り返しながら，動きの確認をする。 ・空間を意識しながら，動く。 5 はじめ—なか—おわりを意識して創作する。 ・ロイロノートを活用し，確認する。 ・グループごとに確認や練習をする。	○ 小さな動きでは伝えたいイメージが伝わりにくいことを確認させる。 ● T1, T2が巡回し，動きが小さくならないよう指導を行う。 ○ タブレットで動画を撮影し，イメージ通りの表現ができているか確認させる。 ○ グループごとに場所を決め，活動させる。 ● 設定した空間を効果的に使っているか確認し，指導する。(T2, T1) ○ ロイロノートで一つ一つの動きを確認しながら創作させる。 ● ひとつの動きで終わることなく連続的な動きをさせる。(T2, T1) ☆ 連続的な動きができているか。 ● 静から動へ移行し，ひとまとまりの動きで表現できるよう助言する。(T2, T1) ○ 互いの動きを確認させ，修正が必要な部分について修正させる。
まとめ	10	6 感想を伝え合う。 7 学習カードに記入する。 8 次時の学習内容を確認する。 9 あいさつを行う。	○ 生徒の本時の活動状況を自己評価させる。 ● 本時の反省をもとに，次時の課題を示す。(T1) ☆ 発表会へ向けて，事前準備の確認ができていたか。

創作ダンス学習カード

年 名前 _____

授業の約束

- 1 恥ずかしがらずに堂々と！
- 2 思いっきり体を動かそう！
- 3 仲間の意見や表現を認めて楽しもう！

自己評価

評価項目	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ダイナミックに動くことができた									
自分の意見を出すことができた									
仲間の意見を認めることができた									
発表で見せることを意識してできた									
発表で一言アドバイスができた									

本時のふり返し（気づき・感想など）

時	DKW	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

Aグループ

テーマ：空

イメージ

- ・曇り，雨，ハリケーン，傘
あられ，雹，風，台風，

Bグループ

テーマ：夜の街

イメージ

- ・起きる，時計，外，みんな
と会う，みんなと踊る，み
んなと別れる，それぞれの
家へ，寝る

Cグループ

テーマ：クリスマス

イメージ

- ・冬の楽しみ，前日の夜
サンタクロース，当日の朝